



コツコツ とこどん

大仙市立太田中学校
令和4年11月15日
NO. 99



うららかに たくましく ~ 耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~

その道のプロから学ぶ!

避難訓練時の消防署員の方、地域花壇・学校花壇づくりでの地域の方々、認知症サポーター講習での大仙市高齢者包括センターの方々、親子講演会の講師の方、インターナショナルデーでの大仙市内のALT、大槌交流での太田秋田ライオンズクラブ・太田支所・太田公民館の方々、体験学習・修学旅行に関わってくださったの方々、プロ冒険家阿部雅龍様、登山家・写真家小松由佳様、自衛隊員の方々、秋田県助産師会の方々、小学校・園の先生方、その他多くの方々に授業や行事で太中生と関わり、教をを請うてきました。外部の方々との関わりはキャリア教育そのものであり、学びを深め、社会性・豊かな心等の今必要とされる資質・能力の育成に大きくつながるものです。これまで講師を務めてくださった皆様には心より感謝申し上げます。

さらに、講師の方が地域の方であるならば、地域とのつながりや接点、地域への思いも一層深まるものと思います。今年度本校は、学校と地域が一緒になって子どもたちを育てるコミュニティ・スクールとなったことをこれまで何度もお伝えしてきました。特に本校では、教科の授業で太田地域在住のその道のプロの教をを受ける機会を設けることを、コミュニティ・スクールを推進・機能させた学校運営の中心に据えています。

そのような学びを深める機会、地域との接点を求める機会を、今日11月15日(火)、1年生の技術の授業でもちました。講師は、横沢の藤谷建築の一級技能士藤谷知義さん。藤谷さんには昨年度もご指導いただきましたが、ノコギリ引きの実演

と上手いくための指導助言をいただきました。

安全に正しく材料を切るには、「闇雲ではなく、理にかなった手順」で実施することが大切であり、実演を見て子どもたちも納得していました。その後個々の状況に合わせて教えていただきました。藤谷さん曰く、「たいへん手際がよい子どもたちで、スムーズに進んだ」とお褒めの言葉をいただきました。

1年生は本棚の製作をしています。藤谷さんには、組み立ての際にもご指導いただくことになっております。きっと、自分がイメージした使いやすい本棚が完成することでしょう。



「正しく進めれば 正しい答えにたどり着く」
技術を参観しながら、他の教科にも当てはまる大切なことだと再認識しました。また、藤谷さんとお話しさせていただきながら、私の遠い記憶の中にある(CM?)言葉も思い出しました。

「知識に心が入って知恵となり
技術に心が入って技となる」

何事も心を込めることで、自分が満足できるもの、人を満足させられるもの、机上のものではなく使えるものとなる。どんな気持ちで、どのようにやるかの大切さを感じた授業でした。

学力を高めるために ブラッシュアップタイム

季節はもはや冬ではと思うようなこの頃ですが、〇〇の秋の代表として、「勉強」の二文字がよく入ります。本校の秋から冬にかけての最優先目標は、子どもたち一人一人の学力の向上です。もちろん授業が一番、個々の一人勉強も重要な取組ですが、それに加えて、全校でブラッシュアップタイムとして、昨日11月14日(月)から学力向上プロジェクトを開始しました。

自分が所属する集団の空気や雰囲気、周りの行動で、自分の気持ちが変わったり意欲が湧いたり、実際にかんばったりということは、大人の世界でもよくあることです。それと同じようなことが中学生にも当てはまります。部活動でも勉強でも学校生活でも、友達の、先輩の、後輩の、がんばろうとする気持ちやがんばっている姿を感じることで、自分もという気持ちが湧き、行動に表れる姿を、これまでの教員生活の中で何度も目にしてきました。

成績は最終的には個人戦かも知れませんが、集団の雰囲気によって、個人が伸びる、個人を伸ばすことができると思っています。その意味では、勉強は個人戦ではなく団体戦と言えるのではないのでしょうか。学力向上プロジェクトの中で、全校の学習に向



かう雰囲気を高めていきたいと思ひますし、その雰囲気を授業の中でさらに高めていきたいと思ひています。